

2020年3月11日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)」の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)」(以下、「当ファンド」ということがあります。)の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 当ファンドの基準価額

ファンド名	2020年 3月10日 基準価額(円)	2020年 3月11日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)	1,668	1,565	▲103	▲6.18

(騰落率は小数点第3位四捨五入)

◆ 市況情報

	2020年3月6日	2020年3月10日	騰落率 (%)
S&P/ASX 200 Index	6,216.21	5,939.60	▲4.45

(小数点第3位四捨五入)

海外の市場については基準価額への反映を考慮し、3月6日と3月10日を比較しています。

	2020年3月6日	2020年3月10日	騰落率 (%)
豪ドル(対円レート)	69.84	67.20	▲3.77

(小数点第3位四捨五入)

各レートについては基準価額への反映を考慮し、3月6日と3月10日を比較しています。
為替レートは、WMロイター社が発表するロンドン時間午後4時のレートです。

出所:スタンダード&プアーズ、ブルームバーグ

◆足許の状況

2020年3月9日は、前週末6日の世界の株式市場の大幅下落を受けて、豪州株式市場でも大幅な株安となりました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の終息見通しに不透明感が強まったため、市場では世界的な景気後退のシナリオを織り込み始め、リスク回避姿勢が強まったことで株価は大幅に下落しました。また、世界的な景気減速懸念を背景に原油需要の減少が見込まれる中、産油国間での減産協議の決裂を受けて供給過剰への警戒感が強まり、原油価格が大幅下落したことも株価の下落要因となりました。その後世界的な政策支援への期待などが広がり、3月10日には割安となった銘柄を中心に買い戻す動きがみられたことなどから、豪州株式市場は持ち直す展開となりました。一方、豪ドル(対円レート)は、市場がリスク回避姿勢を強める中、比較的安全な通貨とされる円が選好されたことや、資源輸出や観光への依存度が高い国の通貨が売られる展開となったことなどから、円高豪ドル安が進行しました。

このような市況のもと、当ファンドの基準価額は前営業日比5%を超えて下落しました。

◆今後の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大に終息の目途が立たないことや、世界経済に及ぼす悪影響が金融市場の不安材料となっています。発生源の中国を中心に世界的な生産活動や消費の停滞が懸念される中、投資家がリスク回避姿勢を強めており、金融市場では当面変動性の高い展開が続くと想定されます。しかしながら、中国をはじめ各国で感染拡大の影響を受けている産業や企業に対する支援策が発表されており、中央銀行も金融面での支援を表明しています。各国の対策によって新型コロナウイルス感染拡大に終息の目途が立つことで、金融市場は健全さを取り戻し、株式市場では割安となった銘柄を中心に株価が回復に向かうとみています。

以上

* 文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.40%(税込)

信託財産留保額・・・上限 解約金額・償還金額の1.00% または1口(設定時1口1万円)あたり250円

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 年2.035%(税込)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

*上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

*詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。